



令和 7 年度

岡山市立学校園における
働き方改革推進方針
～アンケート集計結果～

目次

1. 目的	1
2. 概要	1
3. 集計結果	3
① 幼稚園	3
② 小学校	8
③ 中学校	14
④ 高等学校	20

1. 目的

教職員の現状を把握することにより、岡山市立学校園における働き方改革推進方針の 4 本の柱に関する取組状況を評価・検証するために実施するもの。

2. 概要

■調査名称: 令和7年度 働き方改革アンケート

■調査期間: 令和7年7月4日(金)から8月1日(金)まで

■調査対象: 岡山市立学校園の教職員

■実施方法: 匿名かつ任意調査による調査
幼稚園は、庁内 PC 内のグループウェアを活用
学校は、Chromebook 内の「Google Forms」を活用

■調査項目: (※)は令和7年度に新たに追加した項目

- 幼稚園
- (1) 職名
 - (2) 1週間の勤務時間
 - (3) 年齢
 - (4) クラス担任を持っているか
 - (5) 令和7年4、5、6月の時間外在校等時間(月平均)
 - (6) 日常的に負担感・多忙感が大きい業務
 - (7) 勤務時間外に在園する主な要因(業務)
 - (8) 土日に行うことが多い業務
 - (9) 令和6年4月～令和7年3月の間に年次有給休暇を10日以上取得したか
 - (10) 年次有給休暇を取得しない(しにくい)理由
 - (11) 他の職員より先に退勤することに抵抗を感じるか
 - (12) 仕事にやりがいを感じているか
 - (13) 【(12)で①～④を選んだ方】やりがいを感じる瞬間(※)
 - (14) 子どもと向き合う時間を確保できていると感じているか(※)

- (15) ワークライフバランスの観点から、現在の生活について「非常に満足している」を 10 点とすると何点か(※)
- (16) 自己研鑽の時間について勤務時間から除くことを理解しているか
- (17) 作成した教材や資料、文書データなどが職員間で共有できるようになっているか
- (18) 夏季の学校閉庁日5日間への試行拡大は、ワークライフバランスを図ることにつながっているか
- (19) 降園後の職員会議・研修等は、原則、勤務時間内に終了かつ50分以内及び連絡会は週5回未満とし、効率的な運用に努めることは、負担軽減につながっていると思うか

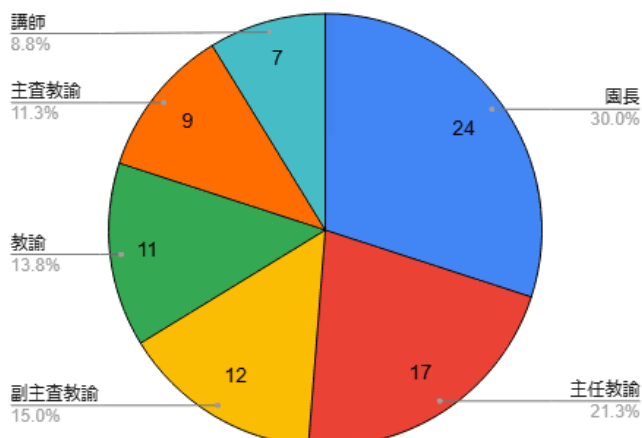
小・中・高等学校

- (1) 学校の種類
- (2) 職名
- (3) 1 週間の勤務時間
- (4) 年齢
- (5) クラス担任を持っているか
- (6) 部活動の顧問をしているか
- (7) 部活動ガイドラインは、部活動の負担軽減につながっているか(中学校のみ)
- (8) 令和7年4、5、6月の時間外在校等時間(月平均)
- (9) 日常的に負担感・多忙感が大きい業務
- (10) 勤務時間外に在校する主な要因(業務)
- (11) 土日に行うことが多い業務
- (12) 令和6年4月～令和7年3月の間に年次有給休暇を10日以上取得したか
- (13) 年次有給休暇を取得しない(しにくい)理由
- (14) 出退勤時刻を記録することで、勤務時間を意識して働くことができているか
- (15) 他の職員より先に退校することに抵抗を感じるか
- (16) 仕事にやりがいを感じているか
- (17) 【(16)で①～④を選んだ方】やりがいを感じる瞬間(※)
- (18) 子どもと向き合う時間を確保できていると感じているか(※)
- (19) 負担軽減につながったと思う取組(※)
- (20) ワークライフバランスの観点から、現在の生活について「非常に満足している」を 10 点とすると何点か(※)
- (21) 自己研鑽の時間について勤務時間から除くことを理解しているか
- (22) C4th の機能を活用し、会議資料を事前提供しているか
- (23) 作成した教材や資料、文書データなどが職員間で共有できるようになっているか

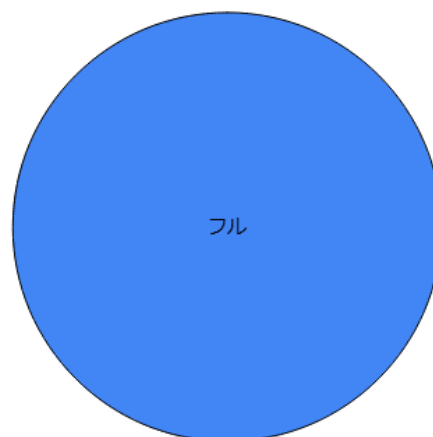
3. 集計結果

①幼稚園 回答数 80 人(アンケート対象者 96 人 回答率 83.3%)

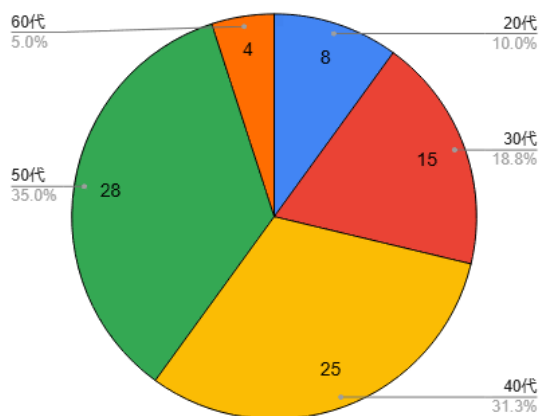
(1) 職名は



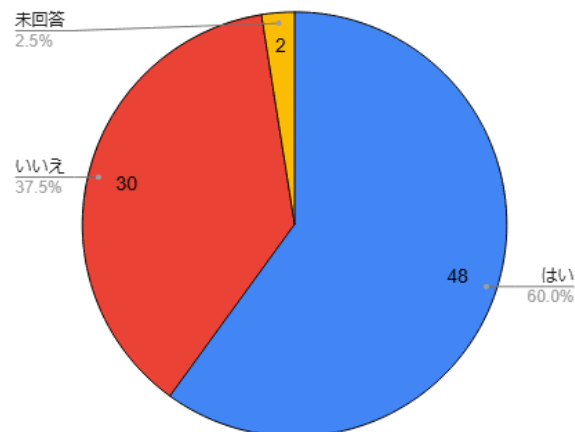
(2) 1週間の勤務時間は



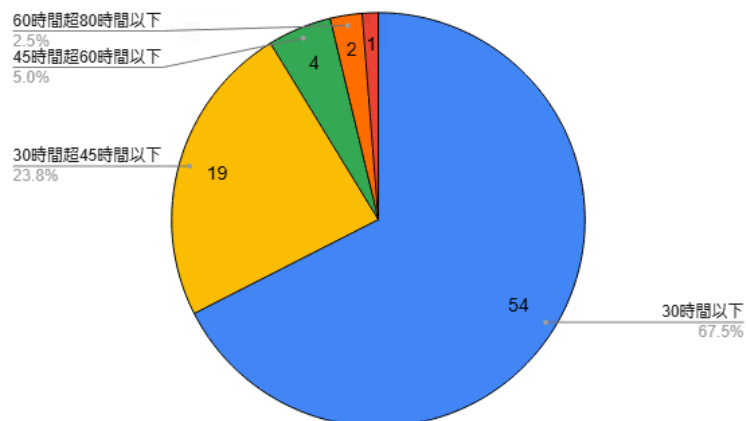
(3) 年齢は



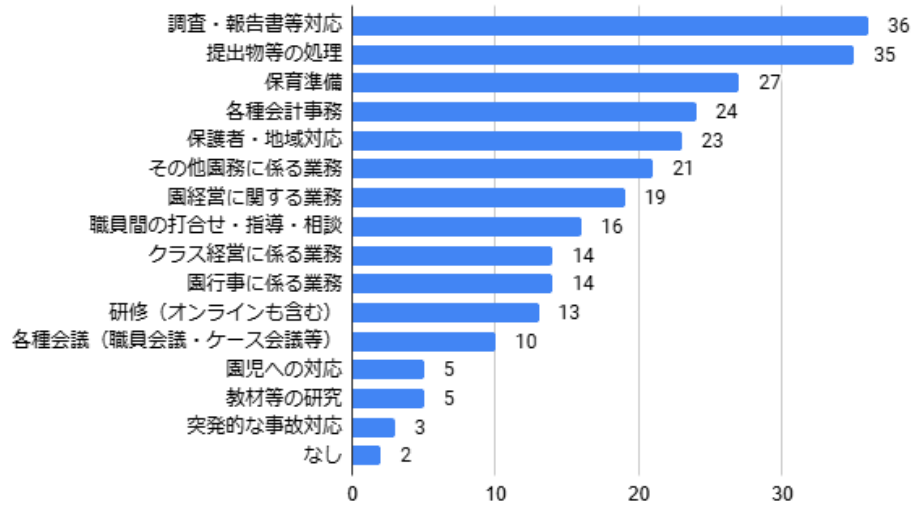
(4) クラス担任を持っているか



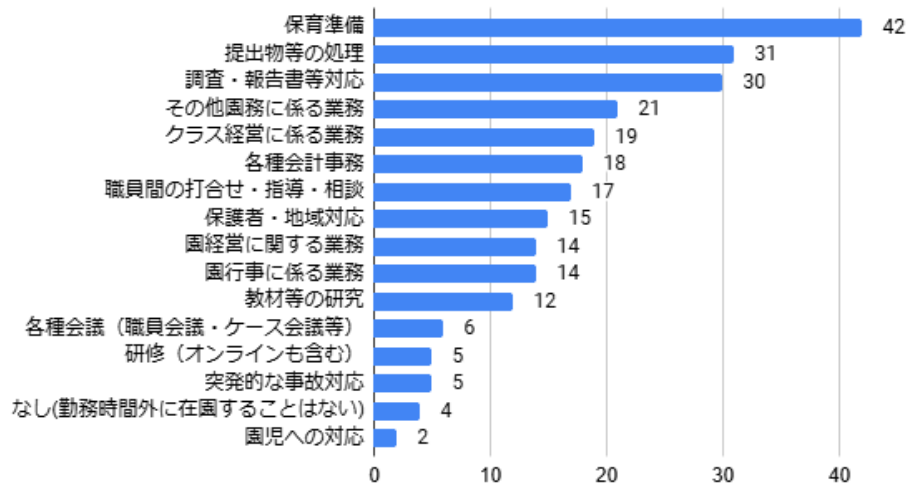
(5) 令和7年4,5,6月の時間外在校等時間(月平均)は



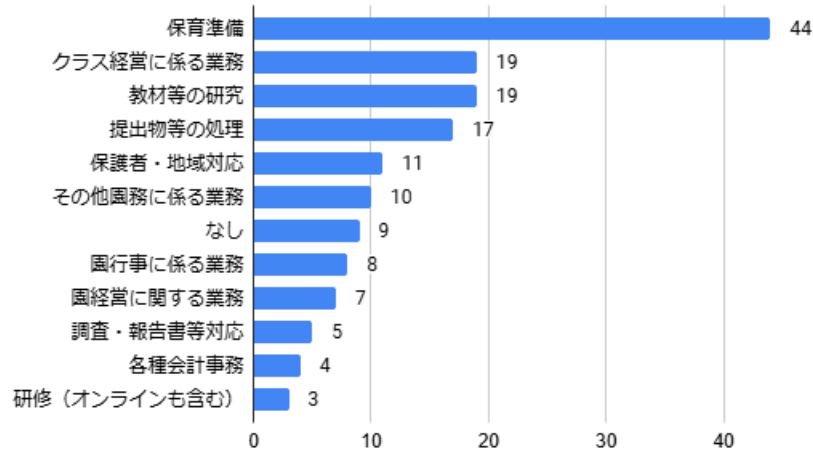
(6) 日常的に負担感・多忙感が大きい業務は<複数回答可※5つまで>



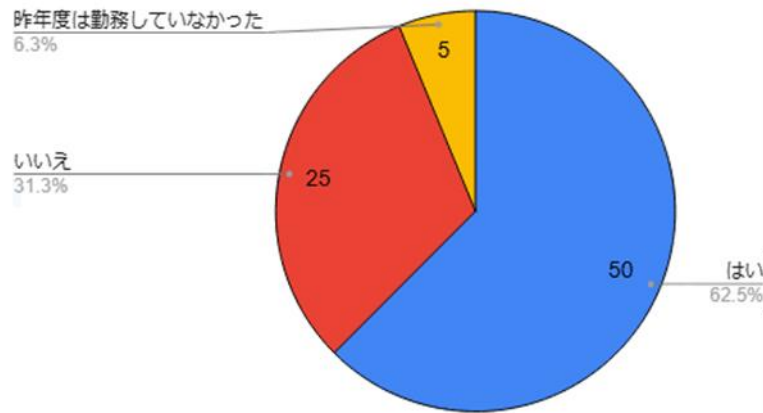
(7) 勤務時間外に在園する主な要因(業務)は<複数回答可※5つまで>



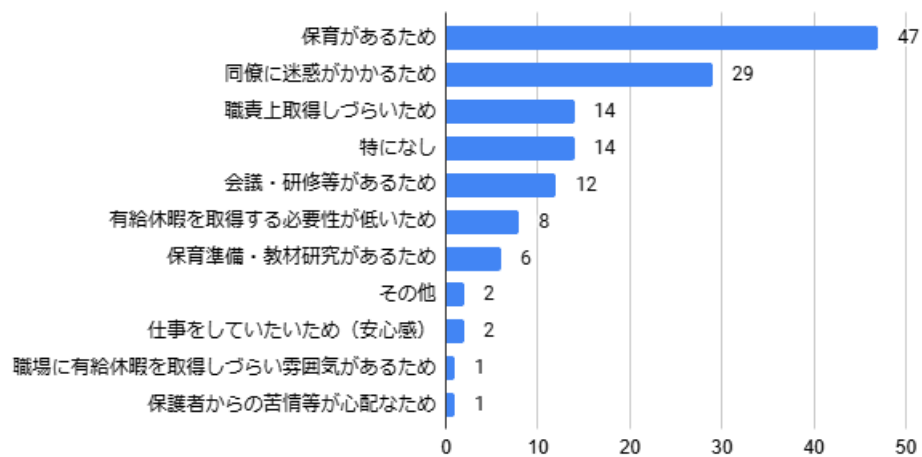
(8) 土日に行うことが多い業務は<複数回答可※3つまで>



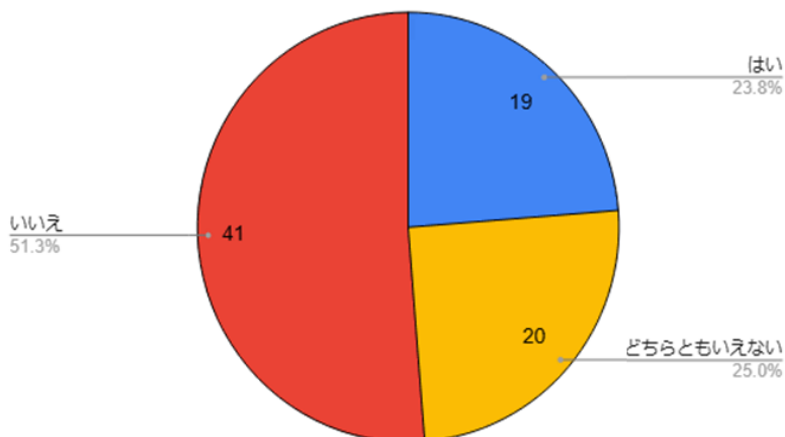
(9) 令和6年4月～令和7年3月の間に年次有給休暇を10日以上取得したか



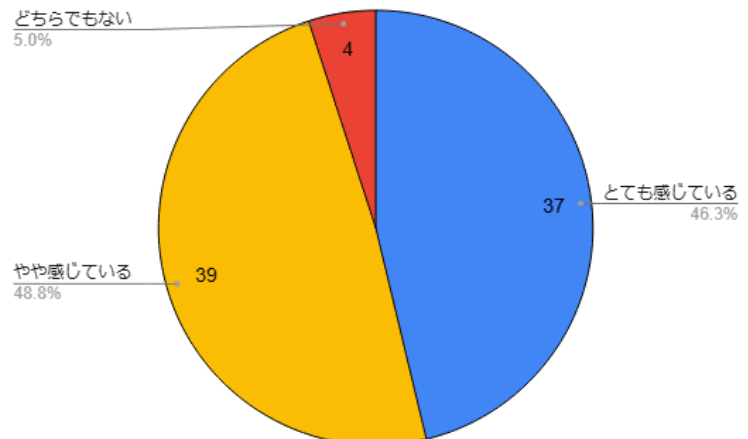
(1 0) 年次有給休暇を取得しない(しにくい)理由は<複数回答可※ 3つまで>



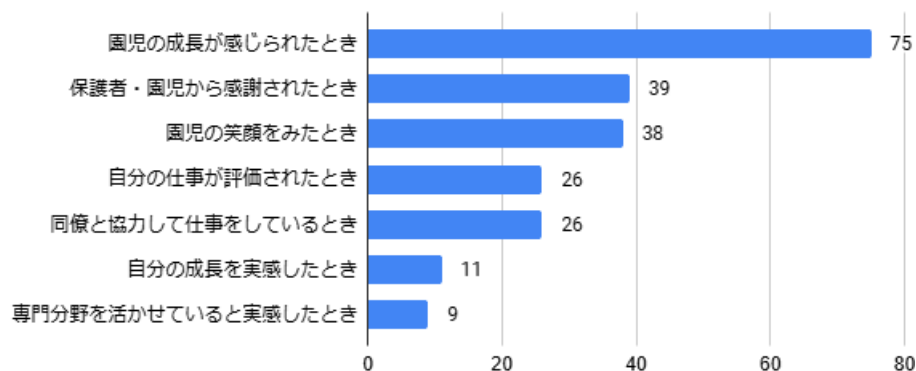
(1 1) 他の職員より先に退勤することに抵抗を感じるか



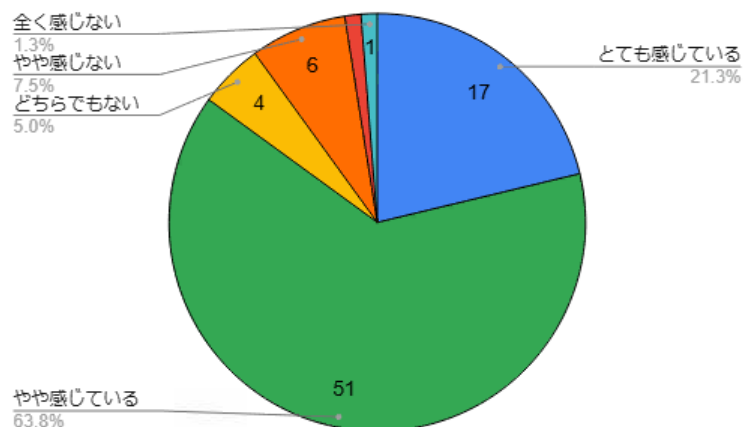
(1 2) 仕事にやりがいを感じているか



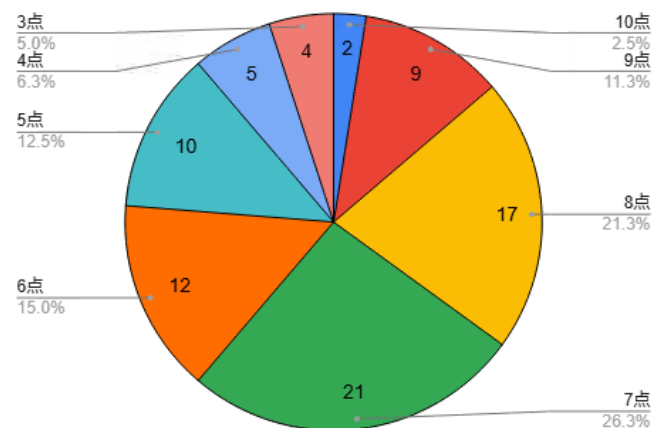
(13) やりがいを感じる瞬間は<複数回答可※3つまで>



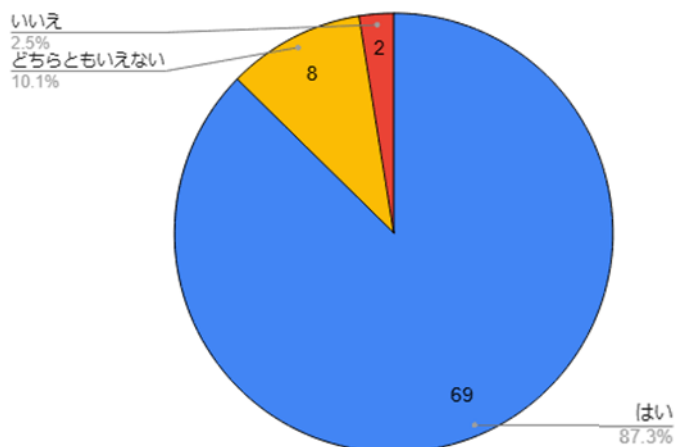
(14) 子どもと向き合う時間を確保できていると感じているか



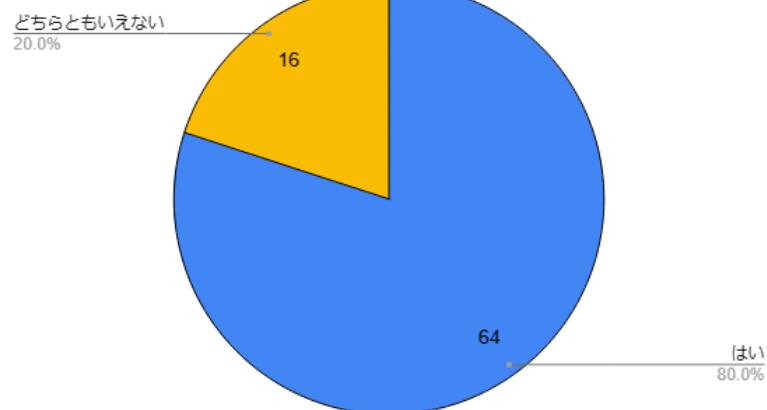
(15) ワークライフバランスの観点から、現在の生活について「非常に満足している」を10点とすると何点ですか



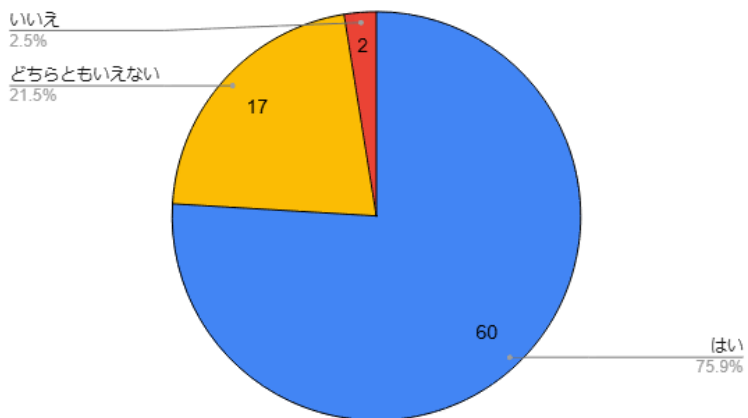
(16) 自己研鑽の時間について勤務時間から除くことを理解しているか



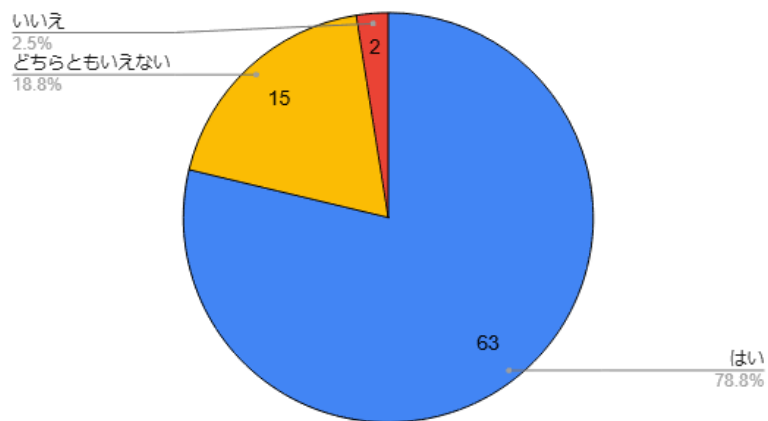
(17) 作成した教材や資料、文書データなどが職員間で共有できるようになっているか



（１８）夏季の学校閉庁日５日間への試行拡大は、ワークライフバランスを図ることにつながっているか

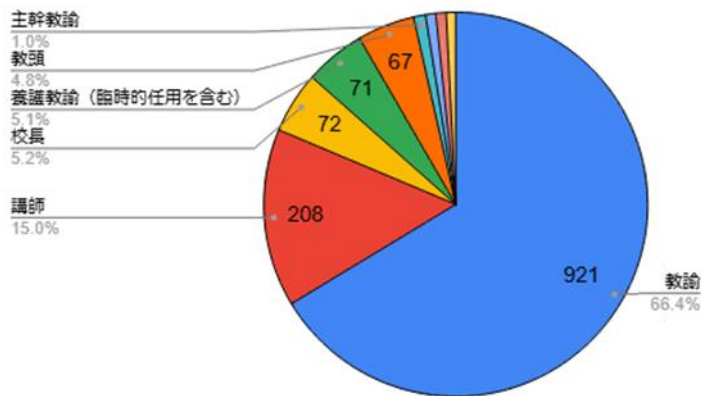


（１９）降園後の職員会議・研修等は、原則、勤務時間内に終了かつ50分以内及び連絡会は週５回未満とし、効率的な運用に努めることは、負担軽減につながっていると思うか

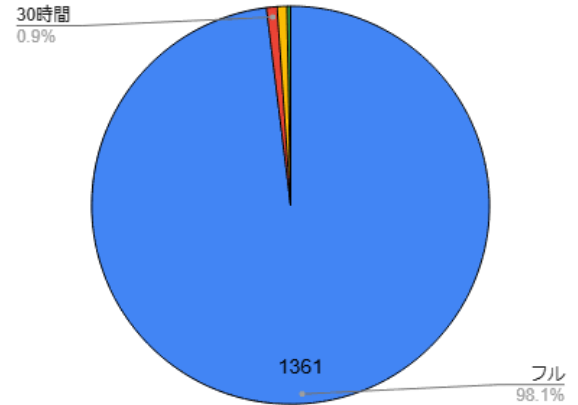


②小学校 回答数 1,388 人(アンケート対象者 2,246 人 回答率 61.8%)

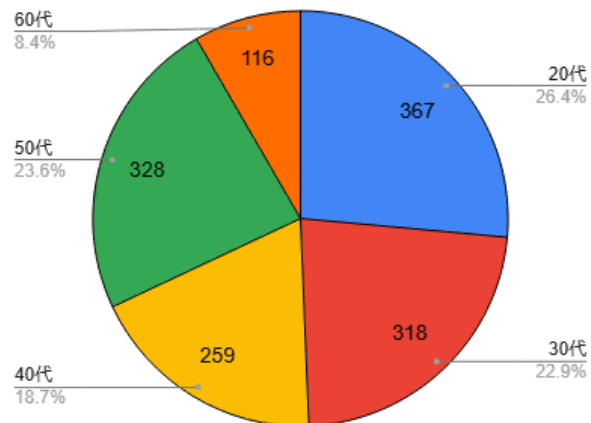
(2) 職名は



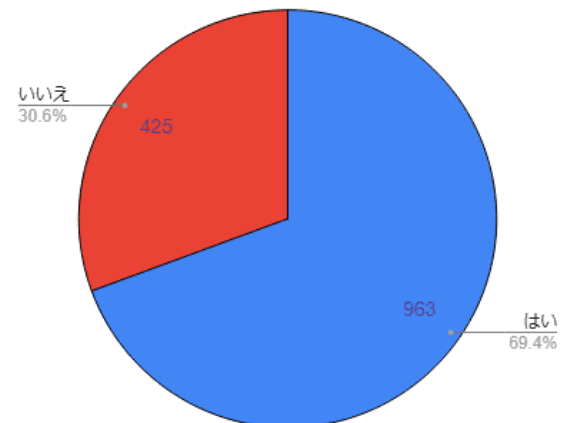
(3) 1週間の勤務時間は



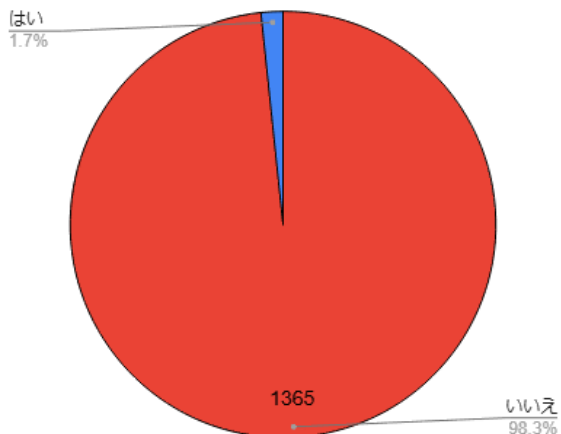
(4) 年齢は



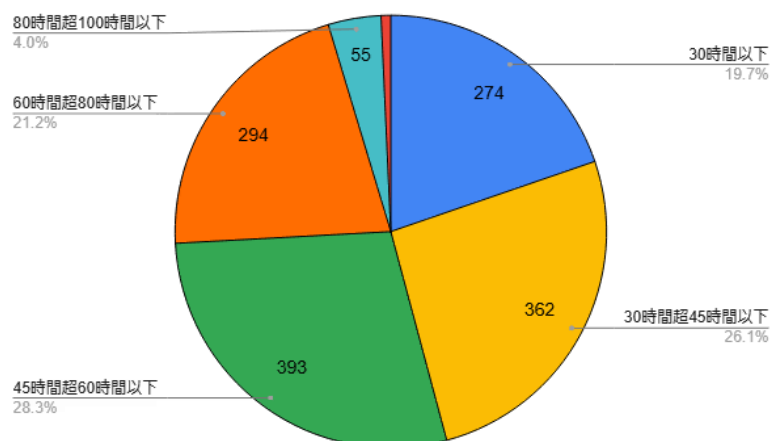
(5) クラス担任を持っているか



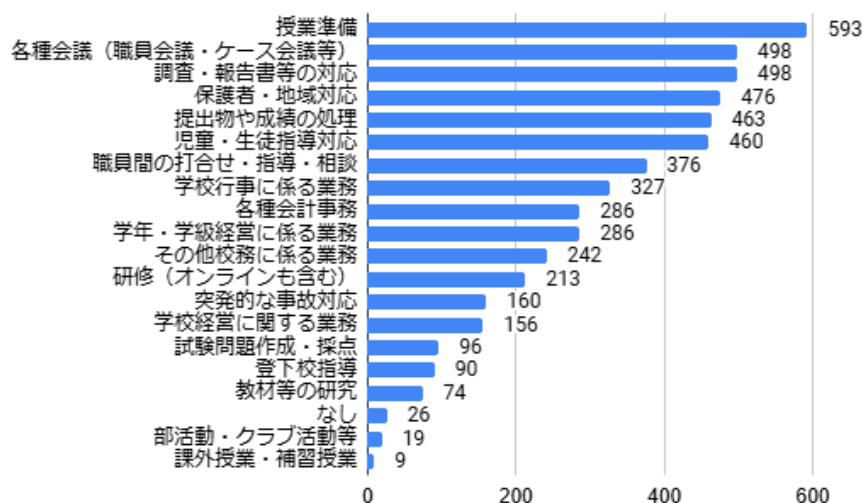
(6) 部活動の顧問をしているか



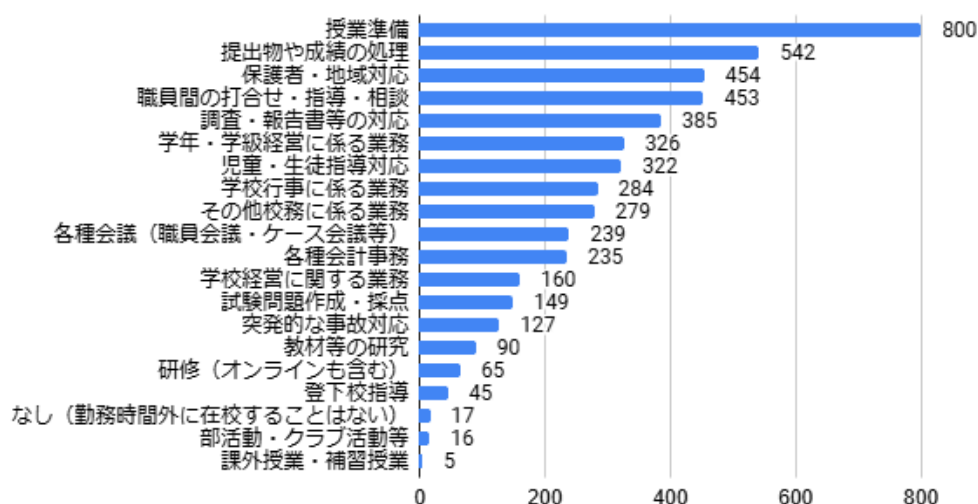
(8) 令和7年4,5,6月の時間外在校等時間 (月平均) は



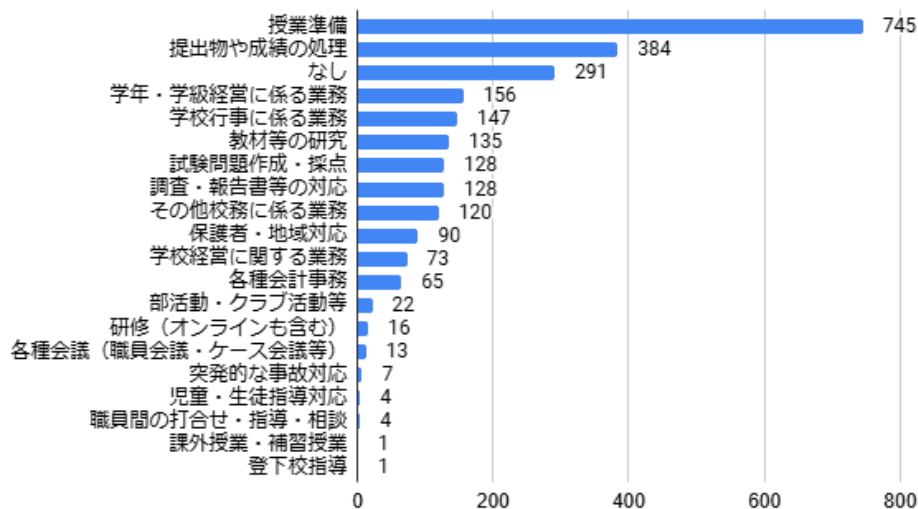
(9) 日常的に負担感・多忙感が大きい業務は<複数回答可※ 5 つまで>



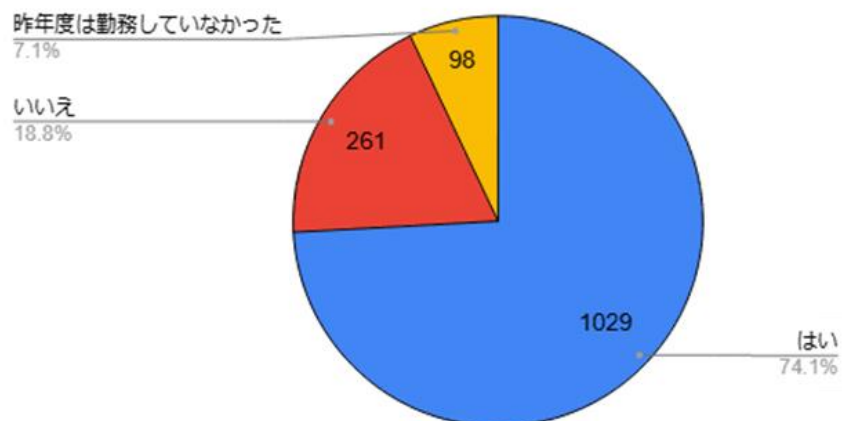
(1 0) 勤務時間外に在籍する主な要因（業務）は<複数回答可※ 5 つまで>



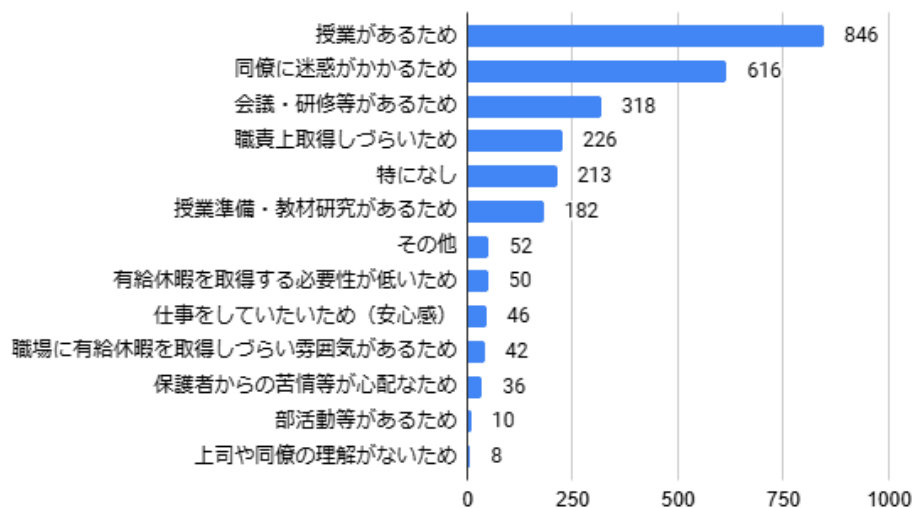
(1 1) 土日に行うことが多い業務は<複数回答可※ 3 つまで>



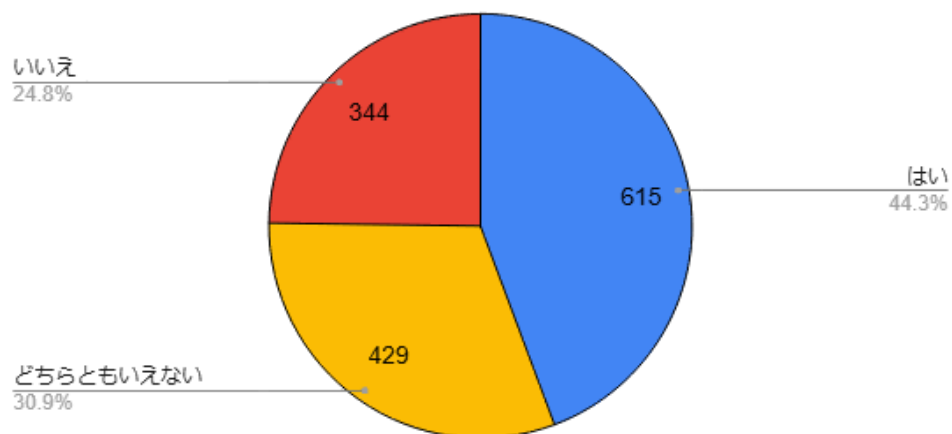
(12) 令和6年4月～令和7年3月の間に年次有給休暇を10日以上取得したか



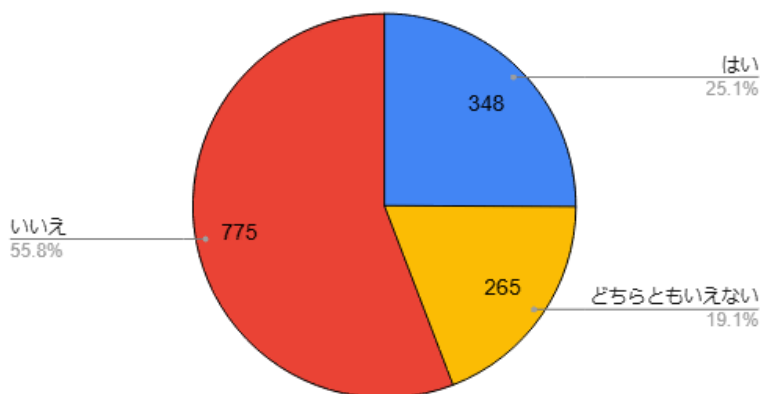
(13) 年次有給休暇を取得しない(しにくい)理由はく複数回答可※3つまで>



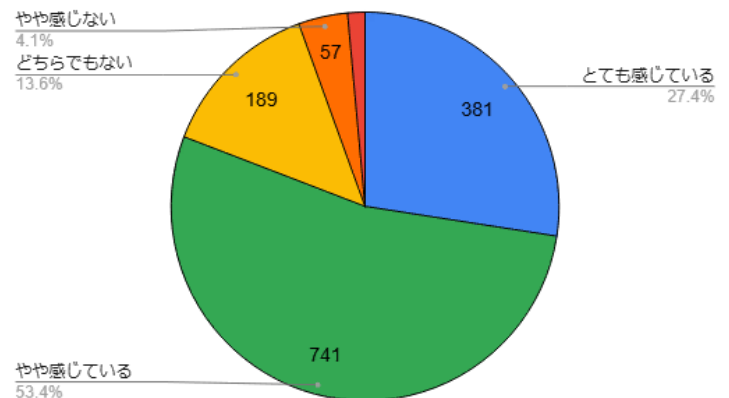
(14) 出退勤時刻を記録することで、勤務時間を意識して働くことができるか



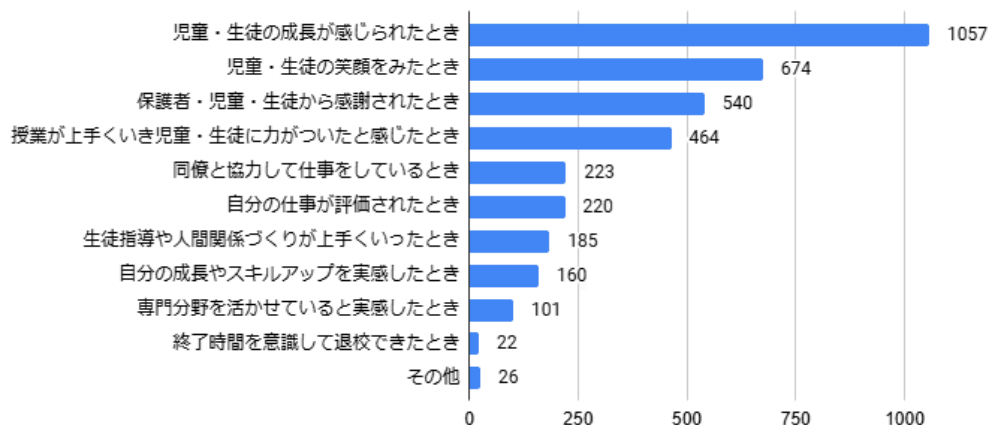
(15) 他の職員より先に退校することに抵抗を感じるか



(16) 仕事にやりがいを感じているか



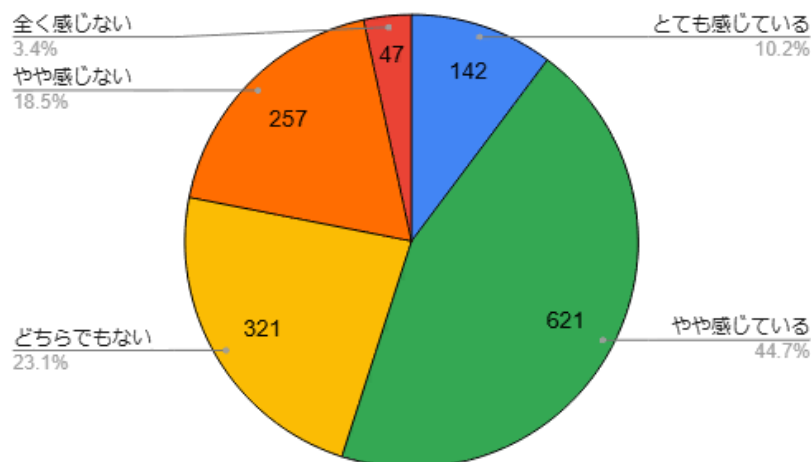
(17) やりがいを感じる瞬間は<複数回答可※3つまで>



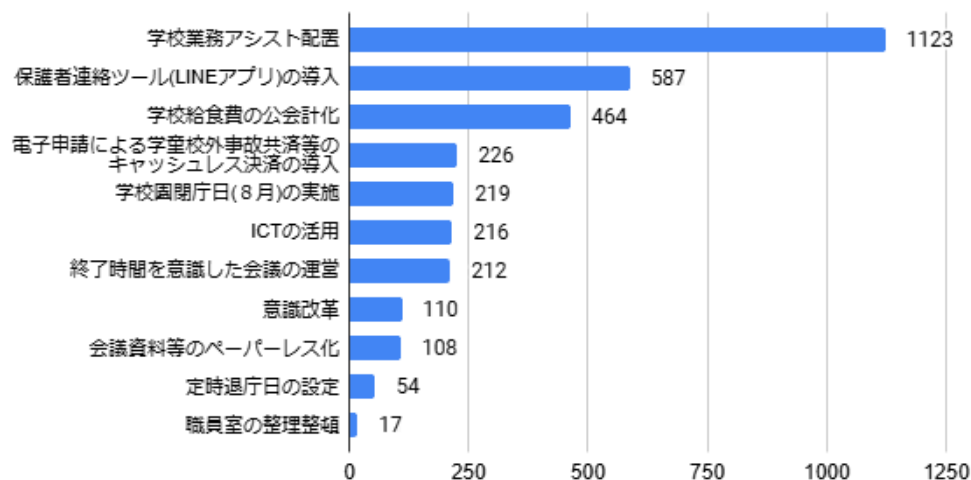
<(17) その他の主な内容>

- ・担当教員の笑顔を見たとき
- ・教職員の成長を感じたとき
- ・行事等を企画し上手くいったとき
- ・初任者の成長を感じられたとき
- ・職場の先生方の力になれたとき
- ・同僚が抱える問題を解決できたとき
- ・先輩の先生に褒めてもらったとき
- ・人員配置がうまくいったとき
- ・職員との連絡調整、行事等、自分が計画したことが滞りなく実施できたとき
- ・教職員が元気に生き生きと仕事をしている姿を見るとき
- ・児童だけでなく、若手の教職員の成長を感じられたとき
- ・教職員がやりがいを感じて業務を行っていたとき
- ・職員が生き生きと業務に取り組んでくれている様子を見たとき
- ・先生方が協力して働き、学校が信頼されていると感じられた時
- ・理想とするチームづくりができた・近づいたと感じたとき

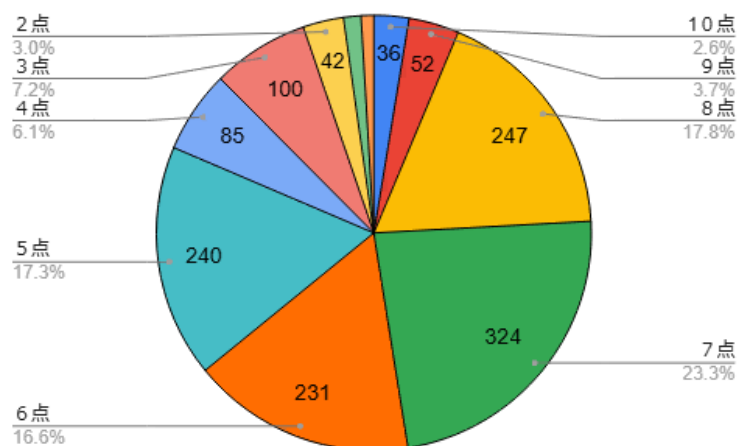
(18) 子どもと向き合う時間を確保できていると感じるか



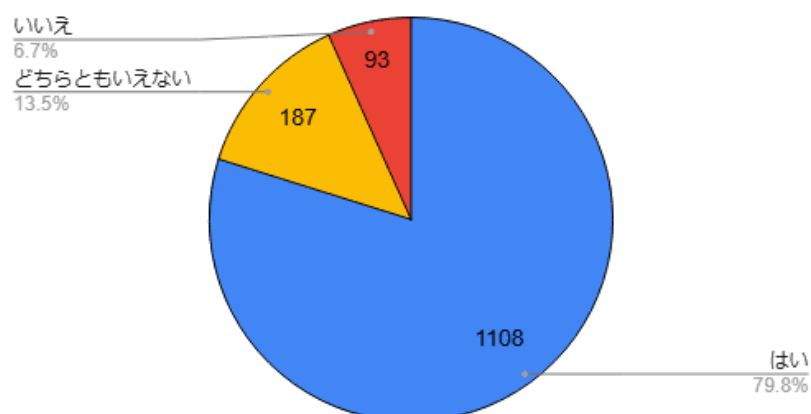
(19) 負担軽減につながったと思う取組は <複数回答可※3つまで>



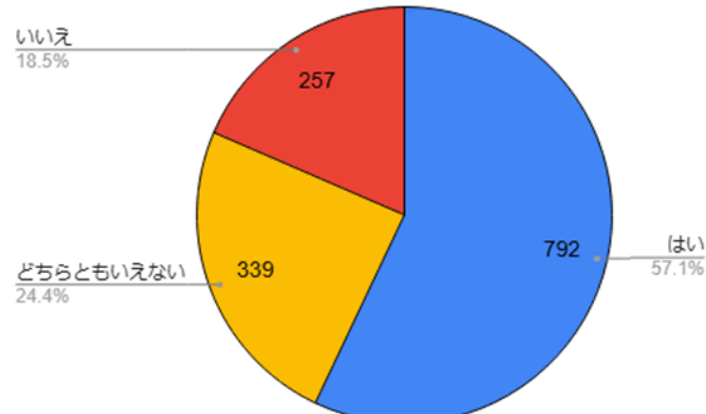
(20) ワークライフバランスの観点から、現在の生活について「非常に満足している」を10点とすると何点ですか



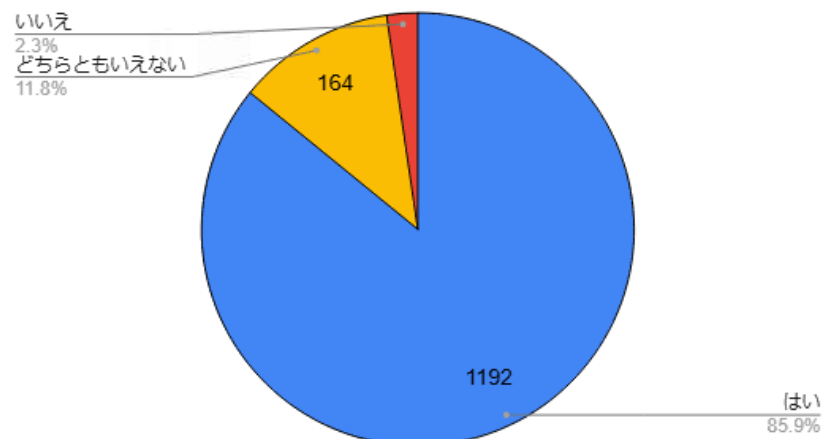
(2 1) 自己研鑽の時間について勤務時間から除くことを理解しているか



(2 2) C4thの機能を活用し、会議資料を事前提供しているか

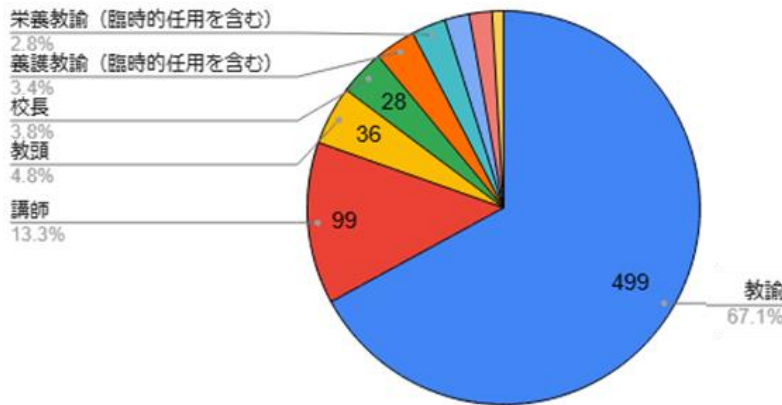


(2 3) 作成した教材や資料、文書データなどが職員間で共有できるようになっているか

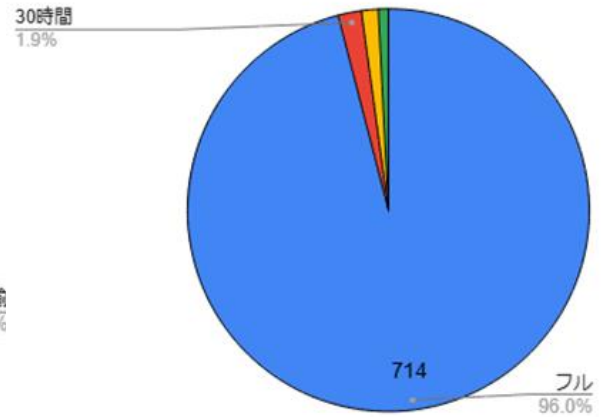


③中学校 回答数 744 人(アンケート対象者 1,212 人 回答率 61.4%)

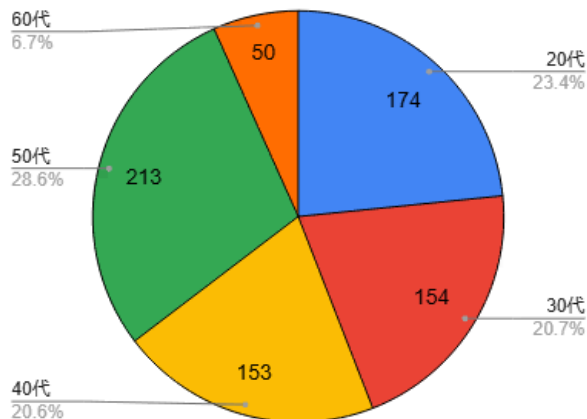
(2) 職名は



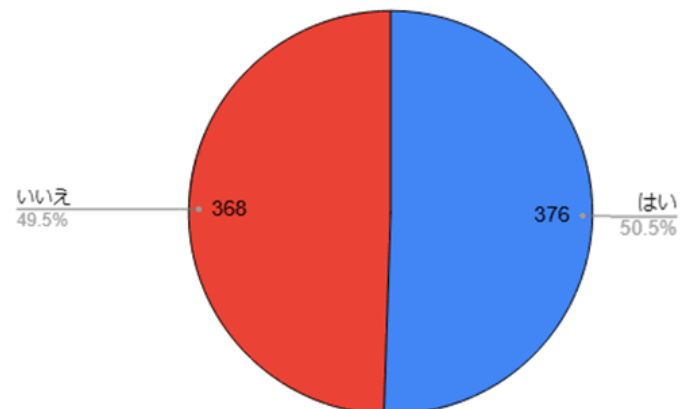
(3) 1週間の勤務時間は



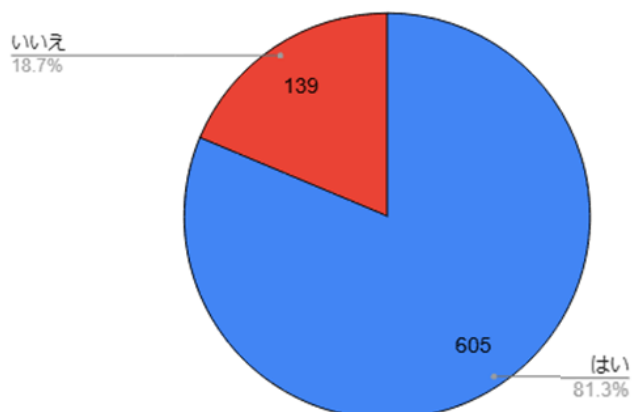
(4) 年齢は



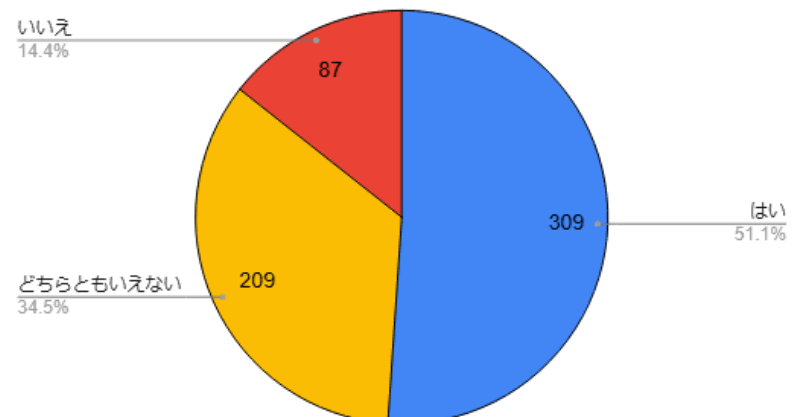
(5) クラス担任を持っているか



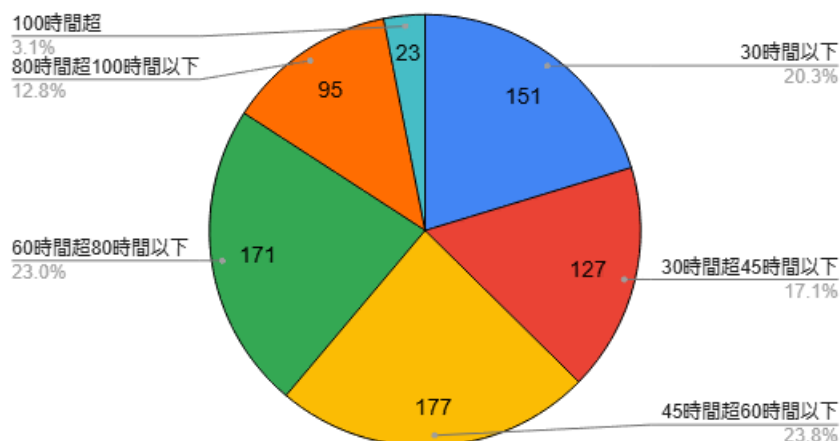
(6) 部活動の顧問をしているか



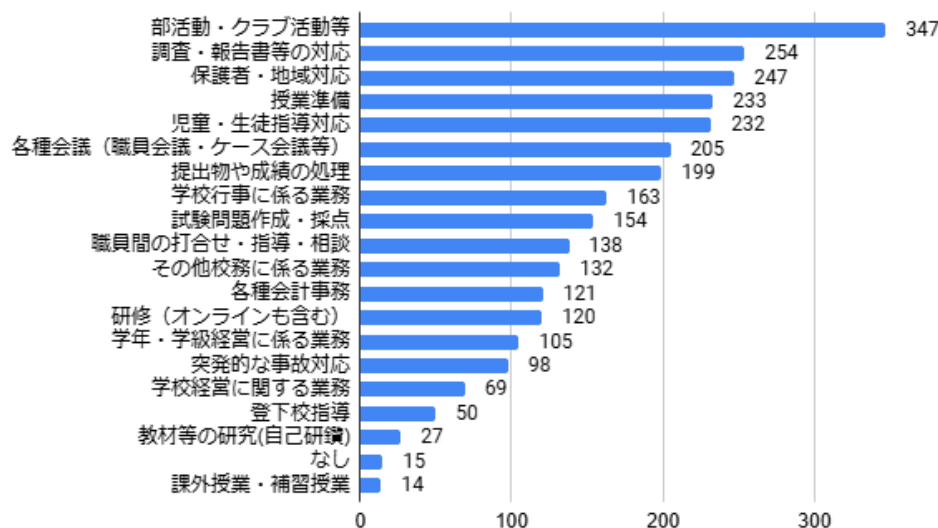
(7) 部活動ガイドラインは、部活動の負担軽減につながっているか



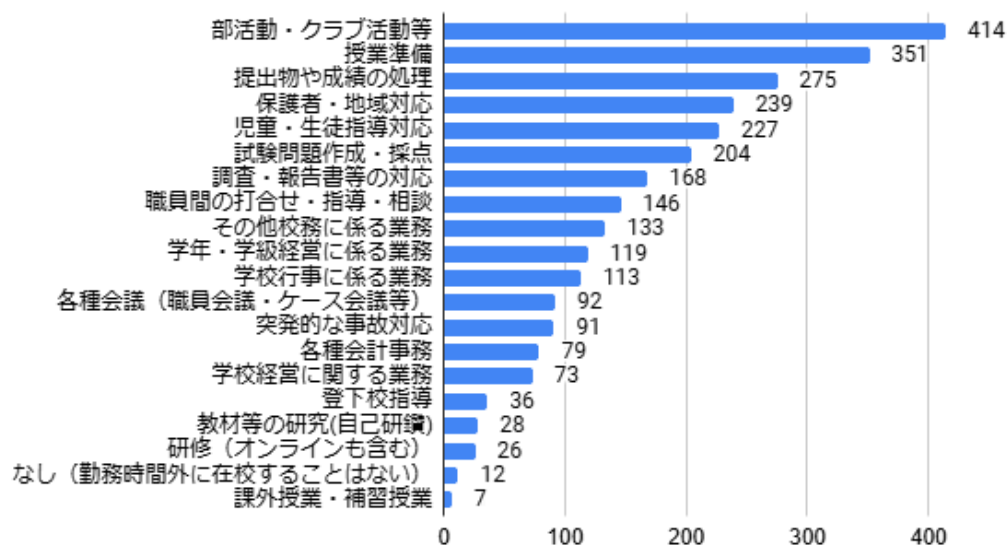
(8) 令和7年4,5,6月の時間外在校等時間(月平均)は



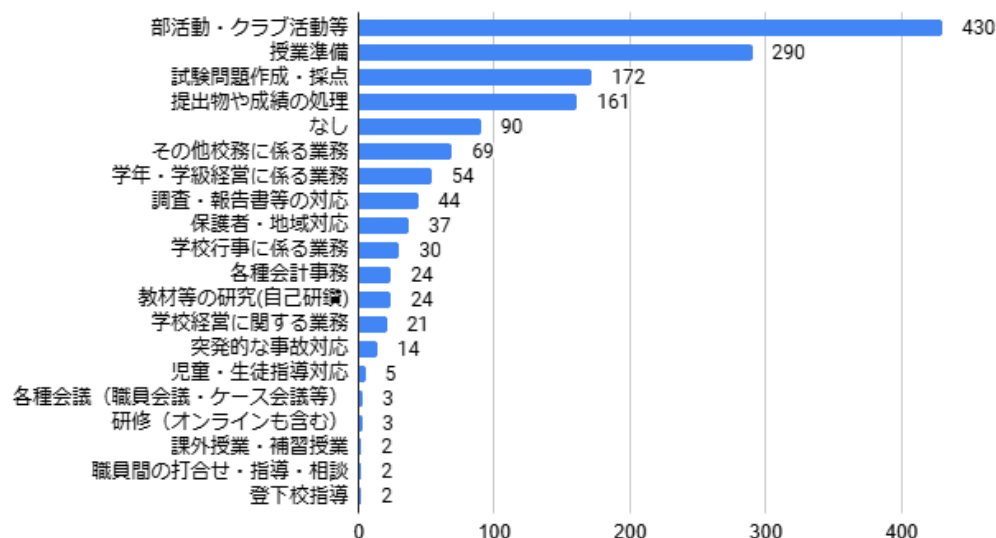
(9) 日常的に負担感・多忙感が大きい業務は<複数回答可※5つまで>



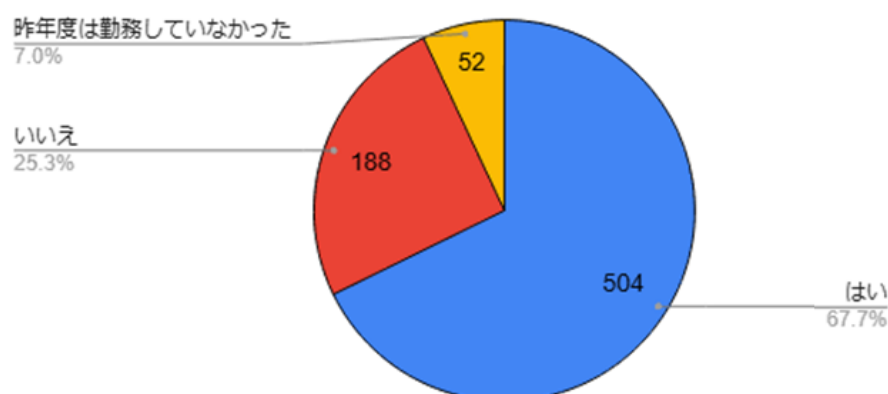
(10) 勤務時間外に在校する主な要因(業務)は<複数回答可※5つまで>



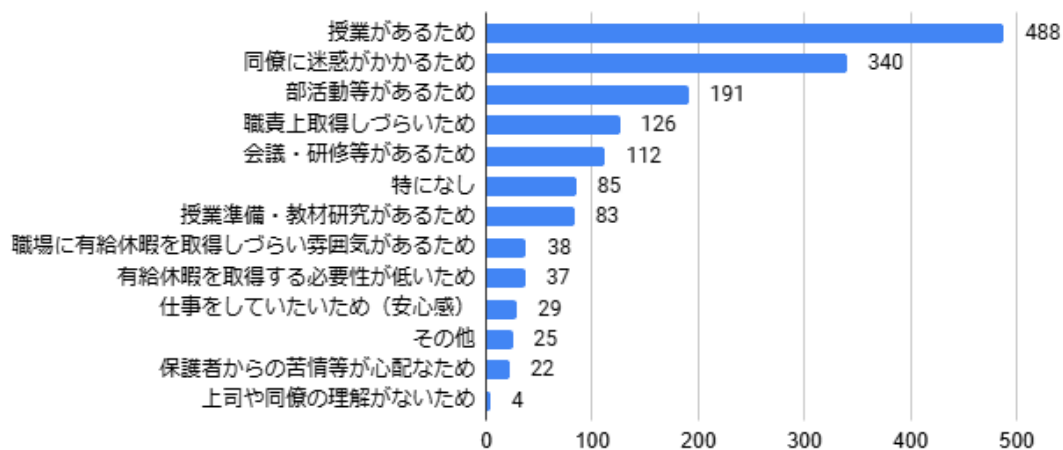
(11) 土日に行うことが多い業務は＜複数回答可※3つまで＞



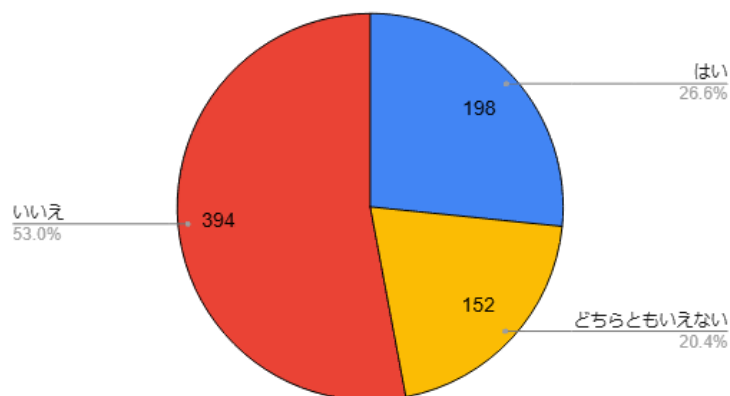
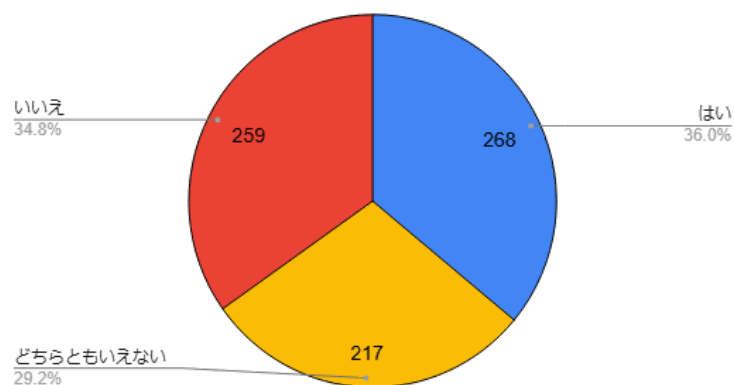
(12) 令和6年4月～令和7年3月の間に年次有給休暇を10日以上取得したか



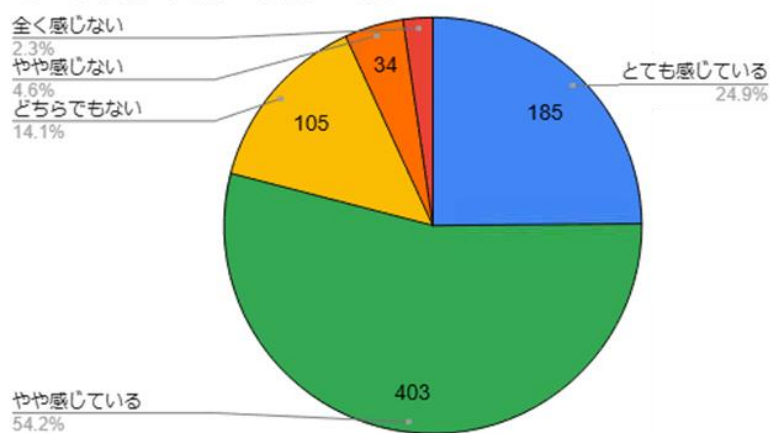
(13) 年次有給休暇を取得しない(しにくい)理由は＜複数回答可※3つまで＞



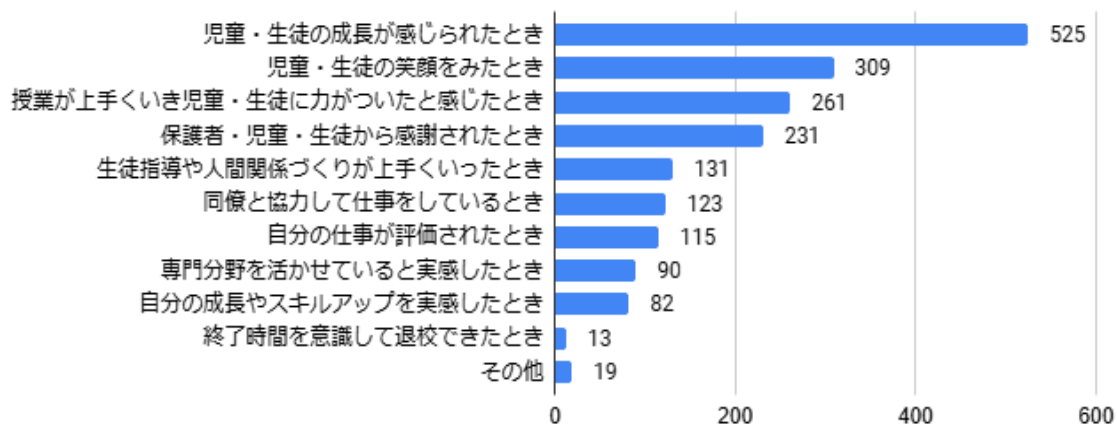
(14) 出退勤時刻を記録することで、勤務時間を意識して働くことができるか (15) 他の職員より先に退校することに抵抗を感じるか



(16) 仕事にやりがいを感じているか



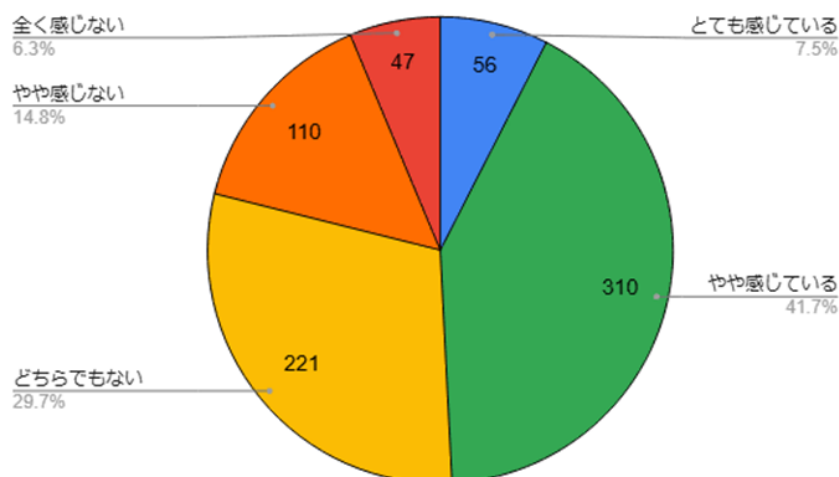
(17) やりがいを感じる瞬間は＜複数回答可※3つまで＞



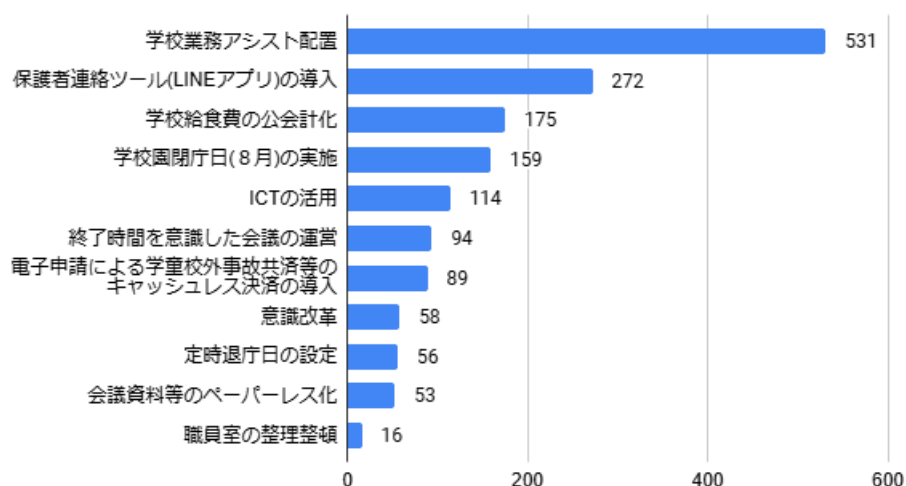
＜(17) その他の主な内容＞

- ・体調不良の職員が復調し、勤務が良好である状態が継続しているとき
- ・職員に仕事の意味や重要性を理解してもらえたとき
- ・教職員がストレスなく働く場所が提供できているとき
- ・部活で結果が残せたとき ・部活を頑張っているとき
- ・先生方が生き生きと働かれているとき
- ・給料を受け取ったとき
- ・仕事を終了したとき

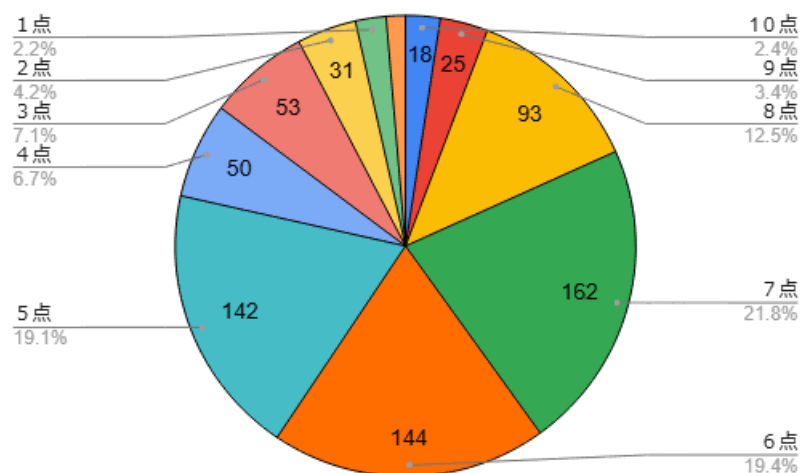
(18) 子どもと向き合う時間を確保できていると感じるか



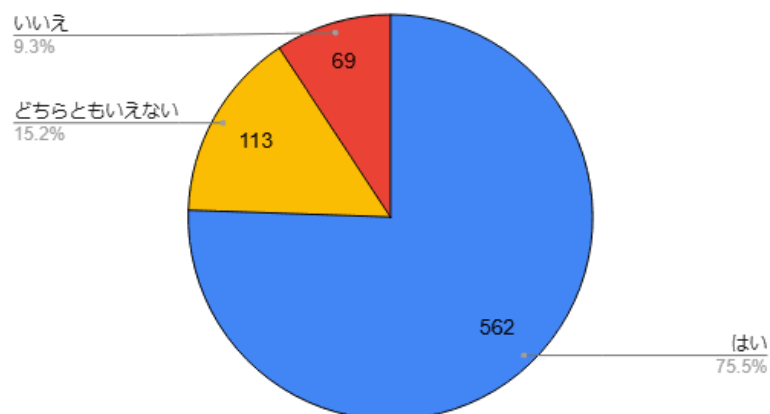
(19) 負担軽減につながったと思う取組は＜複数回答可※ 3つまで＞



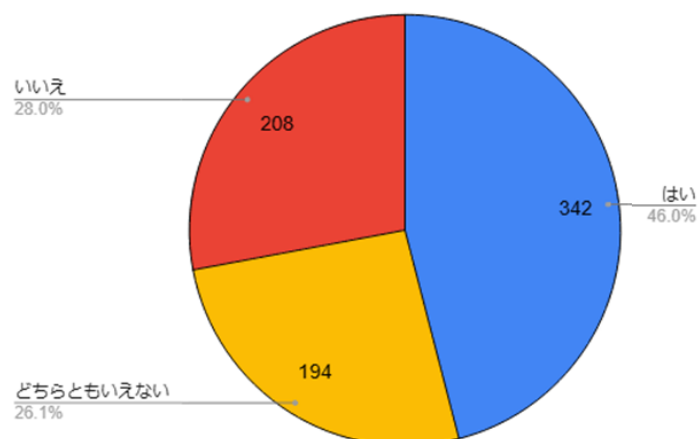
(20) ワークライフバランスの観点から、現在の生活について「非常に満足している」を10点とすると何点ですか



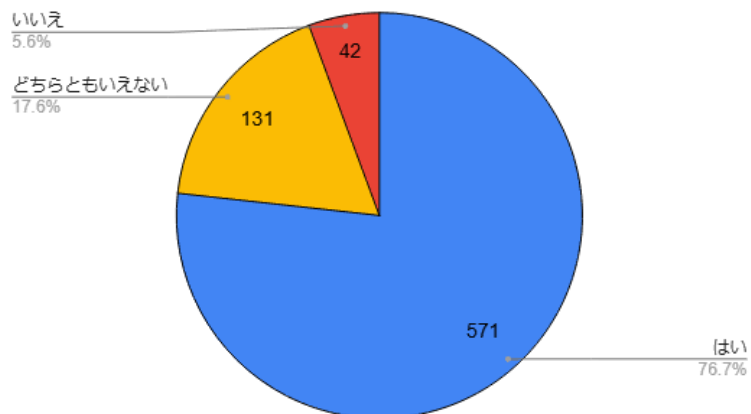
(21) 自己研鑽の時間について勤務時間から除くことを理解しているか



(22) C4thの機能を活用し、会議資料を事前提供しているか

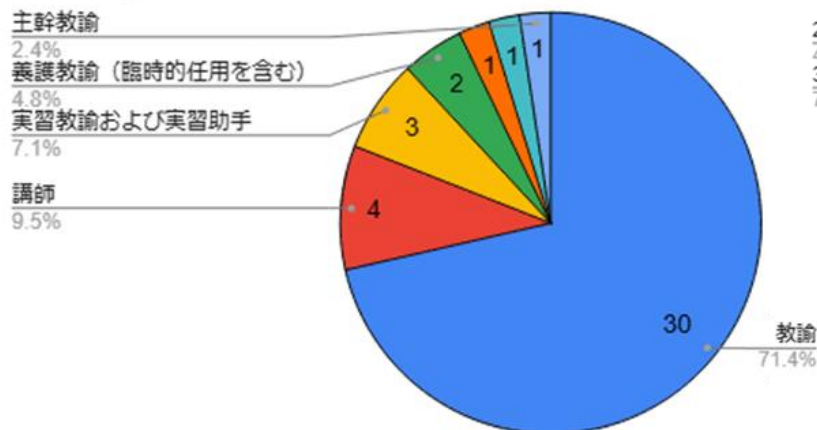


(23) 作成した教材や資料、文書データなどが職員間で共有できるようになっているか

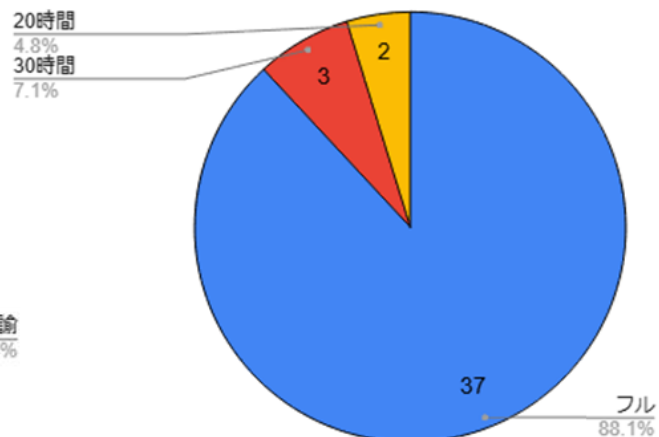


③高等学校 回答数 42 人(アンケート対象者 43 人 回答率 97.7%)

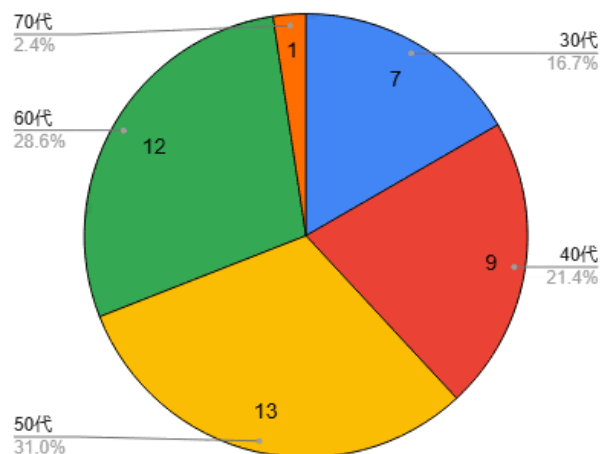
(2) 職名は



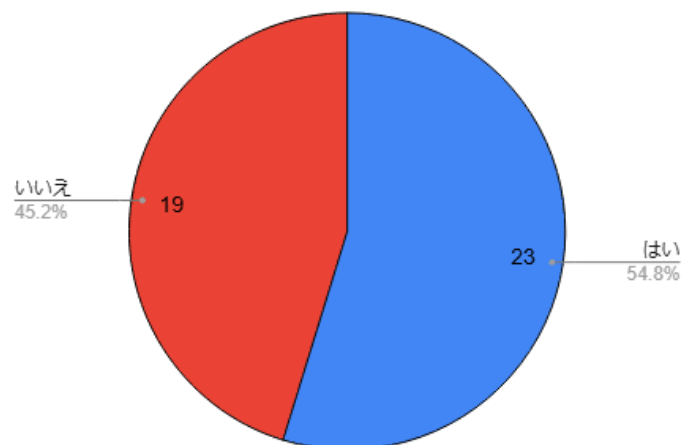
(3) 1週間の勤務時間は



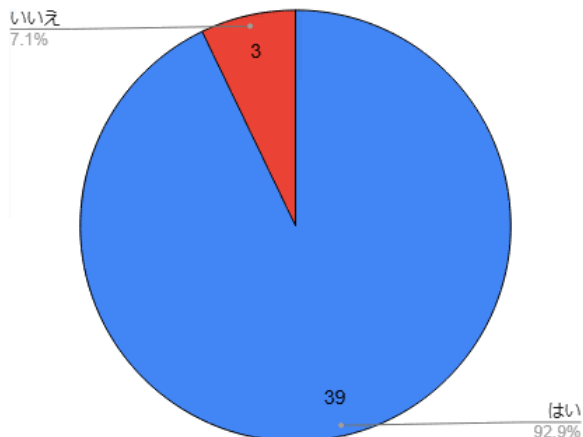
(4) 年齢は



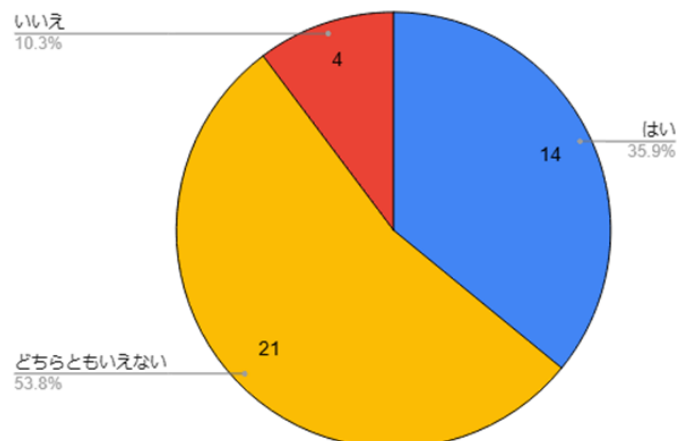
(5) クラス担任を持っているか



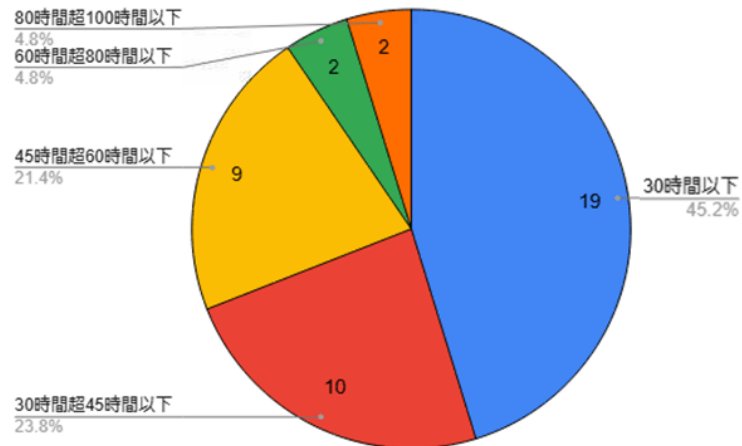
(6) 部活動の顧問をしているか



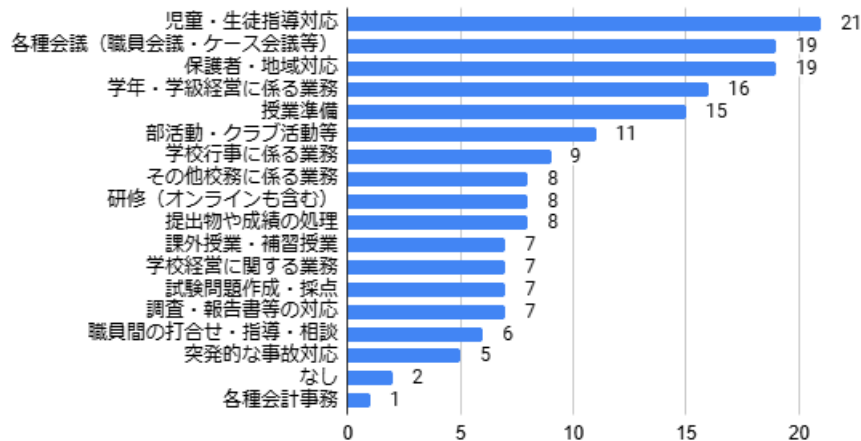
(7) 部活動ガイドラインは、部活動の負担軽減につながっているか



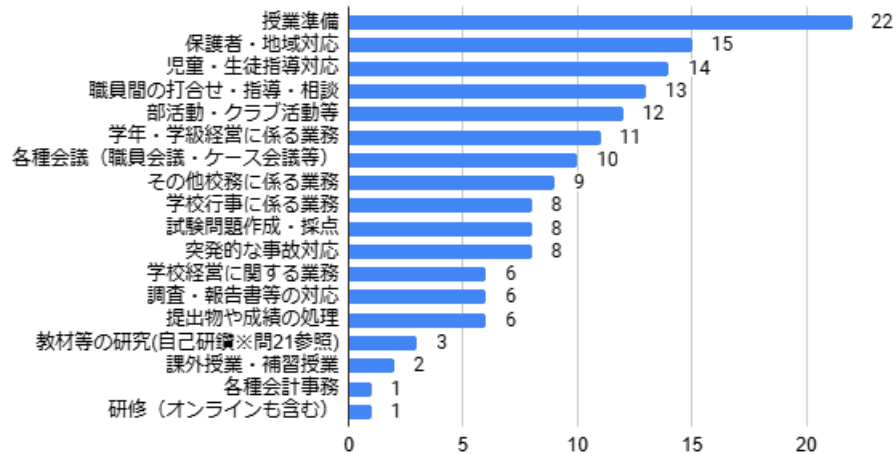
(8) 令和7年4,5,6月の時間外在校等時間(月平均)は



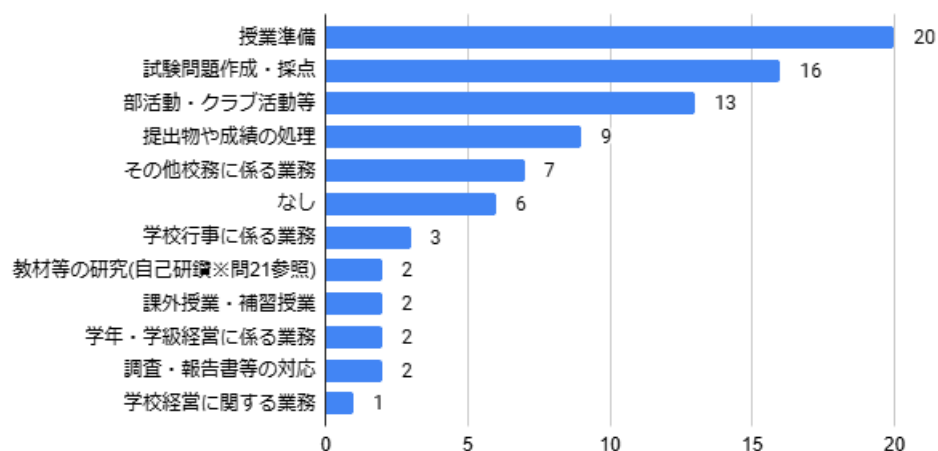
(9) 日常的に負担感・多忙感が大きい業務は<複数回答可※5つまで>



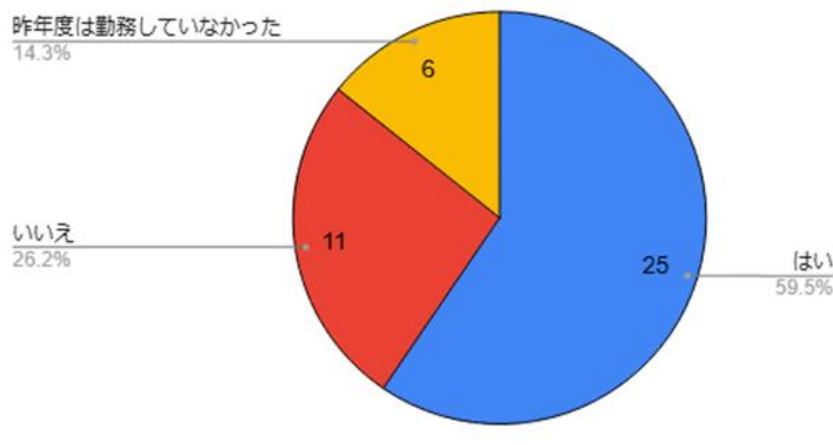
(10) 勤務時間外に在校する主な要因(業務)は<複数回答可※5つまで>



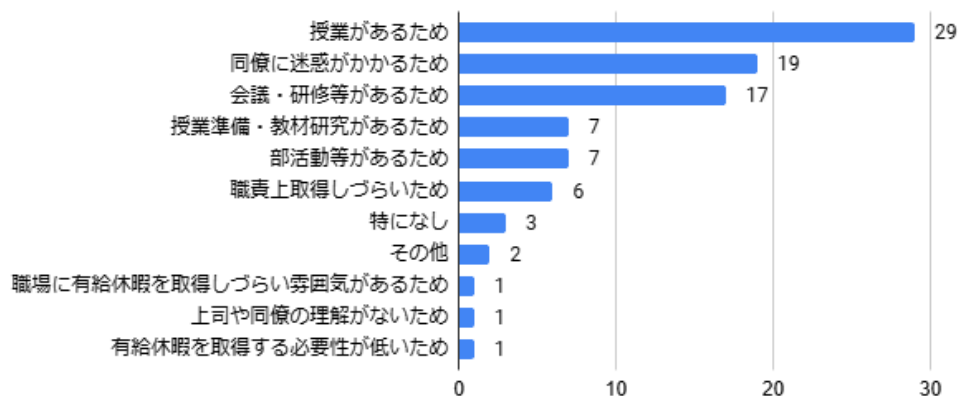
(11) 土日に行うことが多い業務は＜複数回答可※3つまで＞



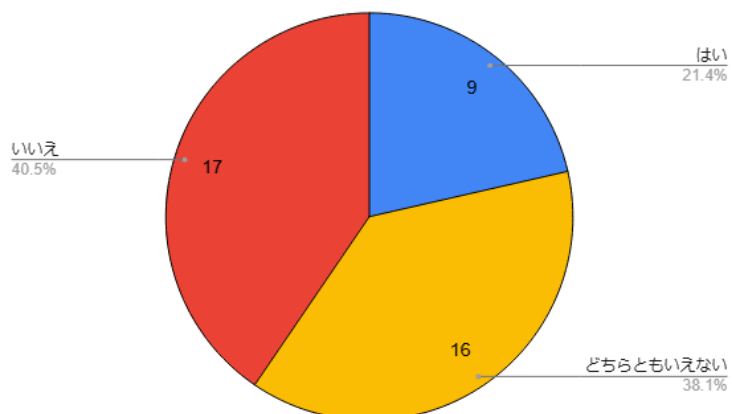
(12) 令和6年4月～令和7年3月の間に年次有給休暇を10日以上取得したか



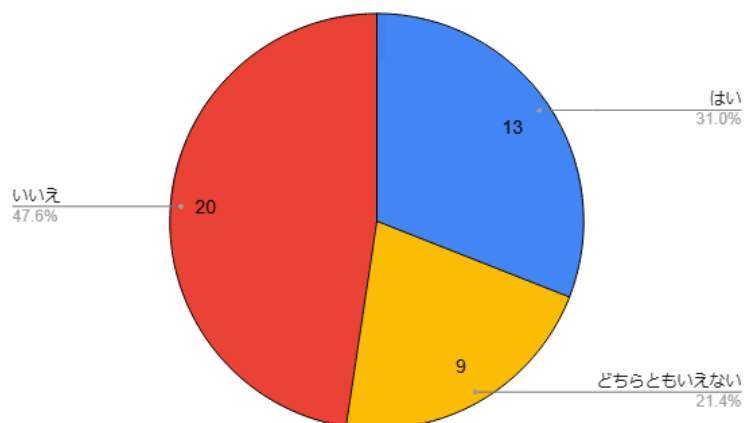
(13) 年次有給休暇を取得しない(しにくい)理由は＜複数回答可※3つまで＞



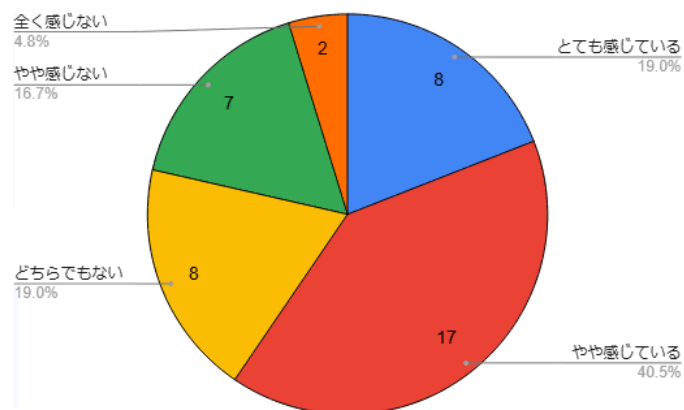
(14) 出退勤時刻を記録することで、勤務時間を意識して働くことができるか



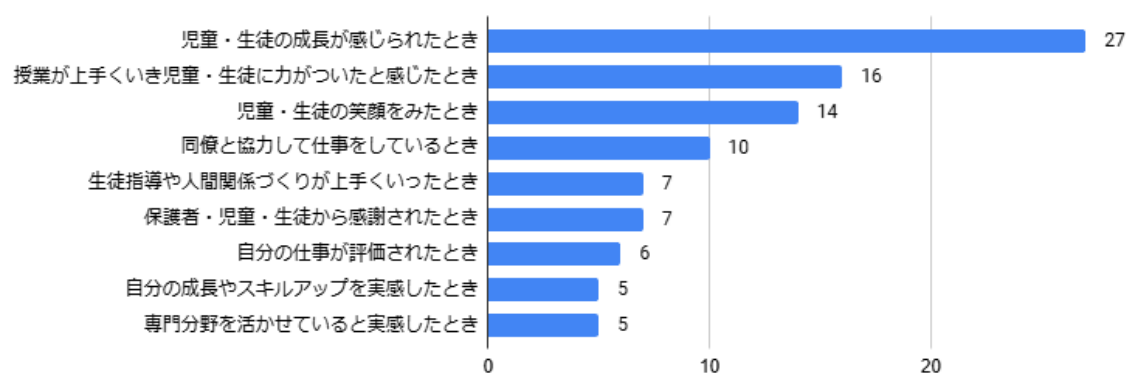
(15) 他の職員より先に退校することに抵抗を感じるか



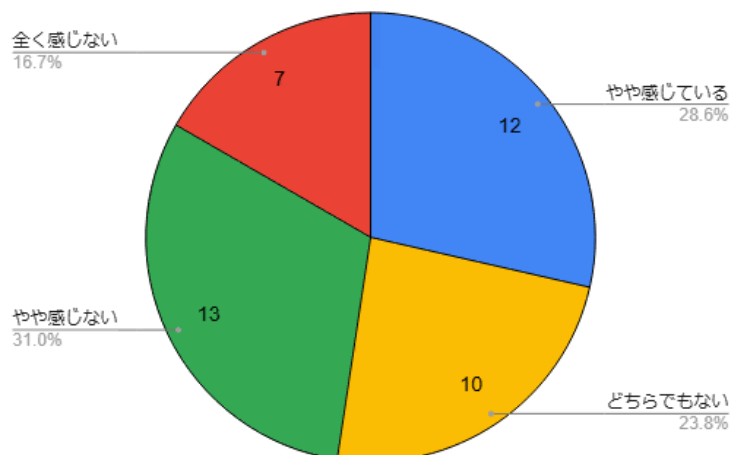
(16) 仕事にやりがいを感じているか



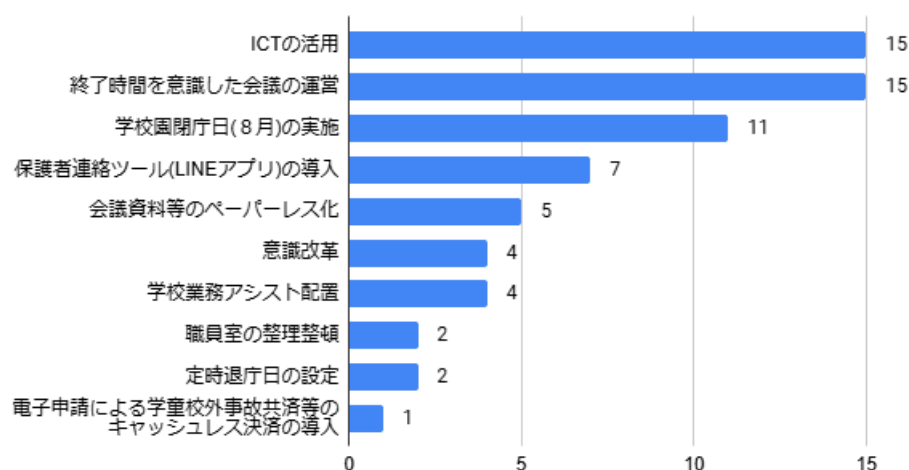
(17) やりがいを感じる瞬間は＜複数回答可※3つまで＞



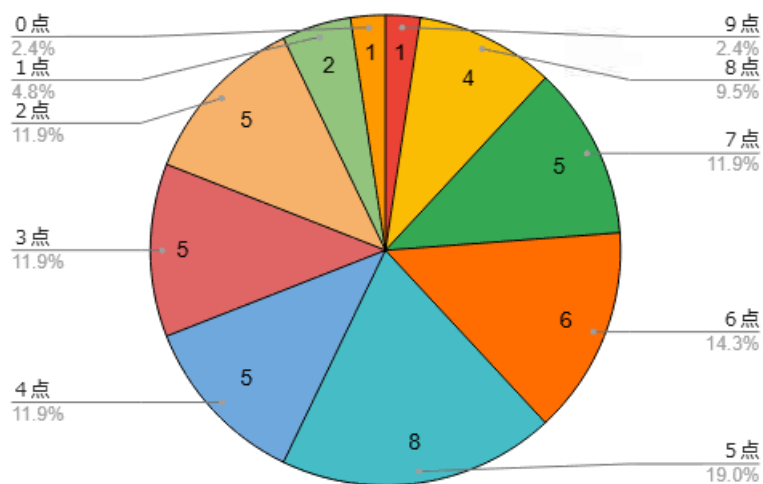
(18) 子どもと向き合う時間を確保できていると感じるか



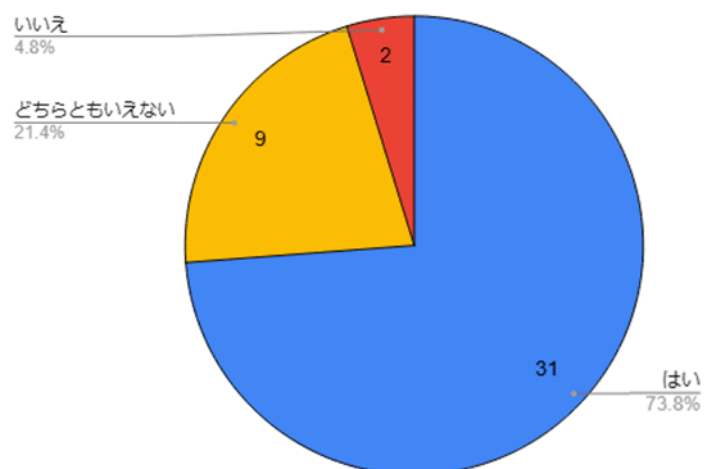
(19) 負担軽減につながったと思う取組は＜複数回答可※3つまで＞



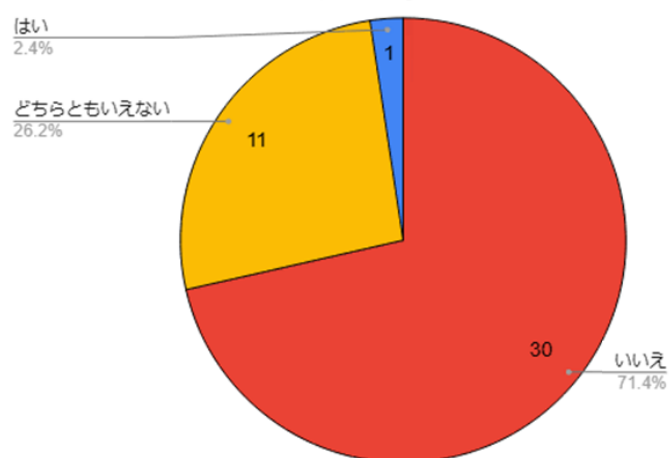
(20) ワークライフバランスの観点から、現在の生活について「非常に満足している」を10点とすると何点ですか



(2 1) 自己研鑽の時間について勤務時間から除くことを理解しているか



(2 2) C4thの機能を活用し、会議資料を事前提供しているか



(2 3) 作成した教材や資料、文書データなどが職員間で共有できるようになっているか

